

年 頭 の ご 挨拶

(一社) 山梨県自動車整備振興会会長
山梨県自動車整備商工組合理事長
小 林 達 也

新年明けましておめでとうございます。

令和5年の年頭にあたり、謹んでご挨拶を申し上げます。

昨年は、新型コロナウイルスへの対応として、感染防止策の徹底とワクチン接種などを政府が押し進めウィズコロナを過ごす日々でしたが、流行は一時的に収まりかけるも終息は見えず感染は続きました。そのような中、当振興会においては感染防止に努めつつ業務を行い、また、4年ぶりの大きなイベントとして計画した「自動車整備技能競技大会」や「車ふれあい祭り」は、感染拡大防止を行い関係者のご尽力を頂き開催することが出来ました。

一方、日本経済は政府が数々の施策を行うものの、コロナ感染症とウクライナ情勢の悪化等の影響を受け、原材料の高騰等で食品や燃料などの生活必要品の値上がりが相次ぎました。更には円安の影響を受け日本経済への悪影響が懸念されたところです。

政府には、令和4年6月に閣議決定された「経済財政運営と改革の基本方針2022新しい資本主義へ」に基づき、落ち込んだ経済の回復と地域社会の活性化を期待します。

このような中、自動車業界は急速に進む電子技術搭載車に対応するため特定整備の取得を進め、社会から求められる安全と環境の維持に努めました。また、予定されているOBD検査の導入や令和5年1月からの自動車検証の電子化など、目まぐるしく変わる環境にも対応してきたところです。

今後、CO2削減に向けたカーボンニュートラルへの取り組みが進み、更に電動化が進むと予想されます。業界として、日々進化する自動車技術に対応するため、最新技術の取得や特定整備取得への対応を引き続き行い、自動車ユーザーに安全・安心な車社会の提供を行うとともに、スキャンツール研修、エーミング研修等技術向上研修の更なる充実を図り、整備業界として社会的役割が十分に果たせるよう取り組んで参ります。

業界活性化の取り組みとして、自動車点検整備推進運動や不正改造車排除運動などを積極的に展開し、自動車ユーザーに点検整備の必要性と点検整備未実施の危険性について啓発するとともに、電子制御装置を搭載した自動車の性能維持等点検整備の重要性について周知して参ります。

整備士の人材確保につきましては、運輸支局と連携し、高校訪問や整備事業者による職場体験への支援等により、引き続き若年整備士の確保に向けた取り組みを行って参ります。

また、登録自動車、軽自動車の継続検査OSS導入拡大については、行政機関や関係団体と連携を行い導入拡大に取り組み、更に、自動車業界を取り巻く諸問題や自動車関係諸税の負担軽減については、上部団体を通じ要望を行い、会員の皆様に情報提供して参ります。

商工組合については、予備検査場の利便性と最新技術に対応する等利用促進を図りつつ、適性管理を引き続き行うとともに、最新の有益商品の研究と提供を行い、組合員の生産性向上等に努め事業の発展に寄与して参ります。

本年も、会員・組合員の活性化と継続的な繁栄に取り組み、業界の発展を目指して参りますので、皆様方より一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。

結びに、本年も関係ご当局、関係機関のご指導、ご協力を賜るとともに皆様方の事業のご発展を心より祈念いたしまして年頭のご挨拶とさせていただきます。

令和 5 年 年 頭 の 辞

関東運輸局山梨運輸支局
支局長 加野島 仁

新年おめでとうございます。

年頭にあたり新春のご挨拶を申し上げます。

昨年は新型コロナウイルス感染症の影響が長期化して年末でも新規感染者数の高止まりが続くとともに、半導体の供給や燃油価格の高騰に歯止めがかからない状況でしたが、全国旅行支援などにより旅行需要が活性化し、3年ぶりにコロナ感染症にかかる行動制限のない状況で新しい年を迎えることができるなど少しだけ明るい兆しも見えてきております。

バス、タクシー、トラックなどの運送事業者や自動車整備事業者の皆様方におかれましては、厳しい経営環境の中、日頃より旅客や貨物の流通確保に対して献身的に尊い使命と責任を果たしていただいておりますことに心から敬意を表し、改めまして厚く御礼申し上げます。

山梨運輸支局としましては、新型コロナウイルス感染症拡大防止、燃油価格高騰に対する支援、交通の安全・安心、地域の足の確保と都市の交通利便の向上、観光産業振興等、これら諸課題に対応した施策を積極的に推進してまいります。

以下、山梨運輸支局が取り組む主要施策と所感の一端を申し上げます。

自動車の安全性や環境保全、安心・安全な車社会の維持のためには点検整備を適切に実施すること、不正改造車を排除することが必要不可欠となっております。

山梨運輸支局としましては、本年も引き続き自動車点検整備推進運動や不正改造車排除運動を積極的に実施し、点検整備の重要性を啓発するとともに、街頭検査を行い無車検車対策としてナンバー自動読み取り装置を活用し、警察及び自動車技術総合機構と連携して取り締まりをしてまいります。

自動車整備事業につきましては、進化を続ける先進安全技術及び自動運転技術への対応を目的に特定整備制度が令和2年4月に施行され、電子制御装置の作動に影響を及ぼす作業には認証が必須となっているところであり、人材の育成・確保や適切な事業運営が必要不可欠な状況となっております。

山梨運輸支局としましては、これまで認証の取得にご尽力いただいた関係者の皆様に感謝申し上げると共に引き続き令和6年3月の経過措置期間の終了に向けて、整備事業者が円滑に認証を取得できるよう取り組みを進めてまいります。

また、整備事業の健全な発達のため、整備事業者に対し効果的な監査を実施し、悪質な違反行為の防止を図るとともに、関係機関と連携を強化し、高等学校を訪問して自動車整備士の重要性和魅力を教員や生徒に説明する等、自動車整備士の人材確保対策を引き続き積極的に行ってまいります。さらに令和6年10月以降の継続検査において、自動運転技術等に用いられる電子装置の機能確認を行うOBD検査を開始する予定となっているため、関係機関と連携してOBD検査が円滑に開始されるよう準備を進めて参ります。

以上、新年を迎えるにあたり、山梨運輸支局における施策、所感の一端を申しあげましたが、これらの実効性を高めるためには、地方自治体、交通事業者等をはじめとする関係者と連携した一体的な取組を進めることが必要不可欠であります。

今後とも、山梨運輸支局の交通の「安全・安心」及び地域に密着したよりよい行政サービスの推進に関し、皆様のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。私の新年の挨拶とさせていただきます。

新年のご挨拶

軽自動車検査協会 山梨事務所

所 長 富 樫 則 之

新年明けましておめでとうございます。

令和5年の新春を迎えるにあたり、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

平素は軽自動車検査協会の業務運営に対しまして、ご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

例年は、繁忙時に構内が混雑し大変ご迷惑をおかけしておりましたので、昨年11月に構内安全対策と待機レーン増設等の構内改修を実施いたしました。工事期間中は皆様にご協力をいただきまして誠にありがとうございました。

近年の軽自動車は低燃費等の経済性に加え、衝突被害軽減ブレーキなどを装備して安全性能が向上することによりこれからも県民の足として、より一層の需要を期待しているところであります。

さて、令和5年の当協会におきましては税納付確認システム（軽JNKS）や手数料改正、新車OSSなどが開始されます。

また、今後控えているスケジュールとして、令和3年10月以降の新型車を対象に自動車技術総合機構に構築される審査用技術情報管理サーバを活用したOBD検査が令和6年10月から開始するため、開始に向けて自動車技術総合機構と連携して諸準備を進めてまいります。

さらに、自動車検査証の電子化につきましても当協会の検査情報システムの次期更改が予定されている令和5年度の実現に向けて諸準備を進めてまいります。

本年も当協会は、自動車の安全確保、公害の防止等環境保全を図るため、厳正、公正な検査を行うとともに、職員一丸となって利用者に対するCSの向上を推進してまいります。

今後も、新しい業務や新しいやり方が増えてくると思いますが、より一層、連携を密にして対処してまいりたいと考えておりますので、ご理解とご協力よろしくお願いいたします。

結びにあたり、山梨県自動車整備振興会並びに会員の皆様方の益々のご繁栄をご祈念いたしまして、新年の挨拶とさせていただきます。

= 活動報告 =

「子ども 110 番のお店」PR 活動について

安全・安心なまちづくりに貢献する事業活動の一環として、犯罪や不審者によるさまざまな危険等から大切な子供達を守る緊急避難連絡所として、会員工場では、「子ども 110 番のお店」を開設しております。

今回は、下記の小学校児童を対象に山梨運輸支局の主催するバリアフリー教室において、「子ども 110 番のお店」周知啓発活動を実施しました。

概要については下記のとおりです。

◇日 時 11月29日（火）14：00～15：40

◇場 所 笛吹市立一宮南小学校 体育館及び体育館入口

◇内 容 「子ども 110 番のお店」周知啓発活動

- ・「てんけんくん」「せいびちゃん」による
「子ども 110 番のお店」説明
- ・「子ども 110 番のお店」校内掲示用ポスター、
クリアケース、保護者宛チラシ、
一宮南小学校学区内子ども「110 番のお店」マップチラシを配布



「子ども 110 番のお店」PR

街頭検査の実施結果について

定期点検整備の促進と不正改造車排除を図るため、標記街頭検査が実施されました。

同時に大型車の車輪脱落事故防止を図るため、トルクレンチを使用して締付けトルクの確認を行いました。

街頭検査の結果は、以下のとおりです。

日時	実施場所	参加者	概要
12月15日（木） 13：30～15：30	南巨摩郡 南部町富士 道の駅とみざわ駐車場内	運輸支局 3名 自動車技術総合機構 1名 南巨摩南支部 7名 振興会 1名 警察 2名 山梨県 4名	総検査車両数 16台 不良車両数 9台 整備命令 0台 口頭警告 9台 車検切れ 0台

【主な不適合箇所】

同一性・構造 走行装置 原動機・動力伝達装置
保安装置 電気・灯火類 車枠・車体

大型車ホイールナット締付けトルク確認実施台数 7台
(緩み有り1台)

* 南巨摩南支部の皆様、
ご協力ありがとうございました。



締付けトルク確認の様様

指定自動車整備事業者向け

車検証の電子化及びOBD検査説明会が開催されました

自動車整備業界は大変革期に差し掛かっており、自動車検査証の電子化については令和5年1月以降、継続検査時等にICタグが貼付された電子車検証が交付されます。また令和6年10月からはOBD検査が実施され、その対応が必要となっております。

このような中、自動車整備振興会では指定自動車整備事業の適切かつ円滑な運営を図るため、関東運輸局と山梨運輸支局とのご協力を頂き「車検証の電子化及びOBD検査説明会」を開催しました。

当日は、多くの事業場管理責任者又は主任技術者が参加し、たいへん充実した説明会となりました。

日 時 12月7日（水）午前の部 11:00～12:00

午後の部 14:00～15:00

会 場 （一社）山梨県自動車整備振興会 大講堂

講 師 関東運輸局自動車技術安全部技術課 指導官 天野 望 様

関東運輸局山梨運輸支局 首席陸運技術専門官 木村 健二 様

参加者 212名（事業場管理責任者又は主任技術者）



整備作業中の事故発生について（注意喚起）

自動車整備事業場にて、下記のとおり整備作業中の事故が発生しました。
会員事業者においても引き続きご注意くださいようお願いいたします。

【事故概要】

・北陸信越管内 【12月6日（死亡）】

フォークリフト（小型特殊自動車）の点検・整備のため、後輪に輪留めをして前方を2トンジャッキで上げて作業を行っていたところ、ジャッキが外れフォークリフトの下敷きとなり、死亡した。（1人で作業をしていたため推測。）

支部広報活動について （南巨摩北支部）

定期点検整備の必要性や認証（指定）工場と代行車検の違いを啓蒙するため、支部広報活動の一環として山梨日日新聞の折り込み広告を作成し、12月に富士川町及び身延町の一部へ配付しました。

また、南部警察署は、峡南地域をモデル地とした人気アニメ「ゆるキャン△」とタイアップして、交通事故防止の啓発ポスターを作成しました。その協力の一環として、標記ポスターを支部員工場に掲示し、地域ユーザーへ交通事故防止を呼び掛けています。



《 折り込み広告 》



《 掲示ポスター 》

AMS山梨青年部の活動について

正副部長会議

- ◇日 時 12月20日（火）19:00～20:30
- ◇場 所 振興会 会議室
- ◇出席者 小松部長、大久保、望月、渡邊副部長、大木監事
- ◇審議内容
 - 1) AMS山梨青年部の集いについて
 - 2) 次年度の青年部執行部等の選出について
 - 3) 運営委員会の開催について
 - 4) その他